令和七年度　国語

問題番号	配点	標準解答
1		
1 ①	1点	しゅんかん
1 ②	1点	暮（らす）
1 ③	1点	積乱雲
1 ④	1点	ともな（う）
1 ⑤	1点	模様
2	1点	［活用の種類］下一段（活用）・［活用形］連体（形）
3	1点	ウ
4	1点	ア
5	1点	副（詞）
（計9点）		
2		
1	1点	別の
2	1点	エ
3	2点	野菜の割合が高い
4	1点	イ
5	2点	環境への負荷を軽くすることができる点。
（計7点）		
3		
1	1点	［Ⅰ］基礎
2	2点	［Ⅱ］現実
3	2点	イ
4	2点	［A］おたがいの存在を認めた穏やかな
5	6点	［B］おたがいに敵意を持った緊張感のある
		【採点の観点】
		○　内容
		自分が目指している、あるいは夢見ている世界について、目指している世界、あるいは夢見ている世界を実現するために必要なことにふれながら明確に書いている。
		○　表現
		文脈に即して語句が適切に使われており、内容の述べ方や表現の仕方が工夫され、わかりやすい文章になっている。
		○　表記
		漢字や仮名づかいが正しく、句読点が適切に使われている。
（計16点）		
4		
1	1点	オ
2	3点	（玲於奈が誘っても入部しなかったのに、）瑛太郎が現れた途端に入部した基を、玲於奈は快く思っていなかったこと。
3	1点	八つ当たり
4	2点	エ
5	3点	すれ違いがあったが、二人の目標が同じであることを再確認して安心したから。
（計10点）		
5		
1	2点	ウ
2	1点	すえて
3	2点	老いたる猿
4	3点	老いた猿を思いやる猿たちの姿に感動して、早く親に会いたいと思ったから。
（計8点）		
合計	50点	